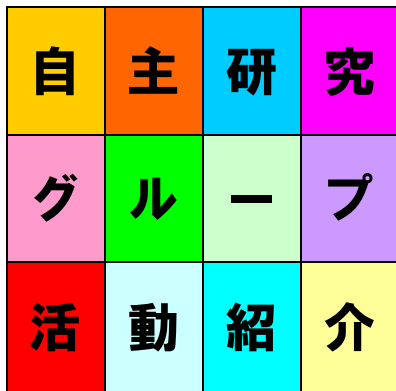


●八王子市役所職員の能力開発



本市では、職員の自己啓発支援の一環として、市政を取り巻く課題などについて調査研究するグループ活動を支援しています。

八王子市総務部職員課人材育成担当

地方分権が進展する中で、自治体自らが政策責任の主体となって、多様化する住民ニーズに応えていくことが求められています。このため、自治体職員に求められる能力・役割は変化しており、従来の公務員の枠にとらわれない柔軟な思考で、自ら課題を認識し、解決できる自立型の職員を育成していくことが自治体における重要な課題となっています。本市では、2001（平成 13）年に『人材育成基本方針』を定め、「人事制度」、「職場づくり」、「研修制度」を一体として、職員の育成に取り組んでいます。

ここで紹介する自主研究グループ活動への助成制度(※)は、研修制度の要の一つである自己啓発への支援です。この制度には、制度を設けて以来延べ 62 グループ 569 名の職員が参加してきました。ここ数年は、市の現状や課題を幅広く学ぼうという勉強会や、自らの業務を深く調査研究することで、業務への精通やスキルアップを図ろうとする活動も行われています。

2012（平成 24）年度は、これから紹介する 2 つのグループが活動を行いました。

グループ名	テーマ
基礎職務能力の向上を目指す会	自治体職員に求められる基礎職務能力の向上について
学校給食調理員の会	災害時における学校給食としての対応

(※) 自主研究グループ活動助成制度とは

市政の様々な課題について自主的に調査研究を行う 3 名以上の職員のグループ活動を支援し、自己啓発意欲の高揚や政策形成能力の向上を図ることなどを目的としています。助成の対象は、図書などの購入費や指導・助言者に対する謝礼などです。また、2005（平成 17）年度からは、都市政策アドバイザーから活動内容に対する助言を受けられるようになっています。

//// 人材育成担当から////////////////////////////////////

日々の業務の中で、疑問に感じたり、もっと深く学んでみたいと思ったりすることは誰にでもあるでしょう。こうしたことを疑問や興味に終わらせず、一歩踏み出して自ら学び、行動し、業務改善につなげることも、また、そうした主体性を持った職員のグループ活動を、人材育成担当は支援しています。

注) 各グループの「メンバー紹介」に記載されている所属及び氏名は、2013（平成 25）年 3 月末時点のものです

基礎職務能力の向上を目指す会

代表：八王子市健康福祉部地域医療推進課

杉山 浩一

●研究目的

私たちのグループは、地方自治の諸分野に関する知識を深めること、文献・資料を的確に要約する能力、所定の条件で分かりやすくプレゼンテーションする能力、文献・資料及び他者の意見に対して的確にコメントする能力の4点を基礎的な職務能力として定め、これらの能力の向上をはかり、政策形成や業務改善等の実務へ生かすことを研究の目的としています。

●研究内容

勉強会は原則月1回の開催で、主に地方自治に関連した課題図書1冊を事前に精読し、レジュメをA4表裏1枚以内で作成します。当日はレジュメを基に5分程度で発表し、フリーディスカッションを行っています。勉強会には、参加を希望した職員のほか、座長とアドバイザーを置いています。座長は公益財団法人日本都市センターの中西規之主任研究員に、アドバイザーには市史編さん室の木内室長に就任頂いています。さらに今年度は、8月に聖学院大学特任講師の鈴木潔氏、9月に地域開発研究所主任研究員の牧瀬稔氏をゲストにお招きし、課題図書の著者自らによる詳細な解説を頂くとともに、より活発な意見交換と人脈の構築を図りました。

開催日	課題図書及び講師	参加者数
平成24年 8月18日	『暴走する地方自治』田村秀著 筑摩書房（ちくま新書） 【講師】聖学院大学政治経済学部 コミュニティ政策学科 特任講師 鈴木潔氏	10
9月14日	課題図書なし（講師による課題提示） 【講師】財団法人地域開発研究所 主任研究員 牧瀬稔氏	10
平成25年 1月18日	『自治体の予算編成改革—新たな潮流と手法の効果—』 公益財団法人日本都市センター編・稲沢克祐、宮田昌一、鈴木潔著 ぎょうせい	8
2月15日	『再び、立ち上がる！—河北新報社、東日本大震災の記録—』 河北新報社編集局著 筑摩書房	7

●代表者コメント

今年度から、東日本大震災を忘れないという意味を込めて、毎年度1回は東日本大震災に関する課題図書を選ぶことにしました。来年度に向け、議論の活性化、研究結果の実務への活用方法の追求及び新規受講者の開拓の3点を特に意識して取り組んでいきたいと考えております。

●メンバー紹介

所属	氏名	所属	氏名
都市政策研究所	福田 純	障害者福祉課	清水 雅生
都市戦略室	立川 寛之	地域医療推進課	杉山 浩一
都市戦略室	金子 正明	子育て支援課	高野 芳崇
法制課	岩田 恵梨	ごみ減量対策課	小杉 浩文
税制課	谷 靖之	都市計画室	原 清
市民課	辻 誠一郎	都市計画室	橘 桃子
健康福祉総務課	竹内 均	都市計画室	日下 陽平
高齢者支援課	椿山 隆之	施設整備課付	最上 和人
介護保険課	元木 博	国体推進室	柳沢 盛仁
介護保険課	荒船 翔哉	国体推進室	牧野 望

学校給食調理員の会

代表：八王子市立七国小学校

菱山 英実

●研究目的

「学校における防災食の準備」と「災害時における学校給食食材の活用」をテーマに、災害時の非常食であるアルファ化米を、学校給食の食品を利用して様々な味で提供するため、そのメニューを考案しました。

●研究内容

【工夫したこと】

災害時においては、調理する際に火が使えるとは限りません。よって、火が使えなくても調理可能なメニューを考えました。なお、湯が使える（火が使用可能）なら、アルファ化米は30分で戻り、調理可能となりますが、湯が使えない（火が使用不可能）なら、アルファ化米を戻すのに1時間30分程度の時間を要します。

【メニュー】

じゃごごはん

アルファ化米（500g）を湯または水で戻し、そこにじゃこ（60g）、カットわかめ（10g）を入れて混ぜます。

かつお節ごはん

アルファ化米（500g）を湯または水で戻し、そこにかつお節（18g）と醤油（大さじ1.5杯）を混ぜて、サラダ油（適量）で炒めます。



●代表者コメント

様々な災害への対応が叫ばれる中、私たちのグループでは「学校給食は災害時にどのような対応ができるか」を考え、今回の研究を進めてきました。今後は、メニューの種類をさらに増やせるように研究していく予定です。

●メンバー紹介

所属	氏名	所属	氏名
第一小学校	大塚 暁子	榎原小学校	前田 理
第五小学校	古屋 秀敏	加住小学校	北村 祐司
第八小学校	岡村 昭彦	片倉台小学校	仲俣 佳子
第八小学校	木山 博文	七国小学校	菱山 英実
柵田小学校	串田 幹夫	松が谷小学校	石川 純
横川小学校	原 嘉代子	柏木小学校	牧 智雄
恩方第一小学校	門倉 景子	別所小学校	佐々木 辰也
元木小学校	野宮 やよい	別所小学校	府川 昇司
美山小学校	木崎 一仁		